

2018年9月28日
第106号

全労連 憲法平和闘争ニュース

全労連
憲法・平和グループ

沖縄県知事選挙最終盤！できることをやりきろう！

アピール

沖縄県知事選挙の勝利に向けて全国の仲間をお願いします

全国注視の沖縄県知事選挙は、投票日まで残り5日となった現時点においても、オール沖縄の玉城デニー候補と、自公維新の佐喜真淳候補が激しく競り合い、まったく余談を許さない状況となっています。

期日前投票は前回知事選の1.8倍となり、ここでもデッドヒートを繰り返しています。

官邸丸がかえの相手候補は、県民の最大の関心事である辺野古の新基地には口をつぐみ、菅官房長官の度重なる来沖で政府との太いパイプを演出する一方、企業締め付けで期日前投票に労働者を動員しています。また、創価学会は檄をとばし、「このままでは『さきまに勝利はない』危機的状況」などと、学会員を総動員しようとしています。

これに対して、玉城デニー陣営は、12日に開催した「うまんちゅ大集会」の成功を力に、最後まで翁長知事の遺志を継ぐ玉城デニー候補の政策、誠実な人柄とぶれない信念の候補者像を有権者に届け、玉城デニー候補への支持を広げに広げる取り組みを強めています。こうしたなかで、「国のやり方は酷すぎる。デニーさんに勝ってほしい」、「戦争だけは絶対にしてはいけない、戦争のための基地は要らない」、「基地絡みのお金はいつかなくなる。自分の足で立つしっかりした経済が大事」など、玉城デニー候補への支持と共感が広がりつつあります。

国策に従わない県政は、権力をもって圧殺するような国に、民主主義や地方自治は望めません。沖縄県知事選挙は、沖縄の未来だけでなく、日本の国のあり方が問われる選挙となっています。

全国の仲間の皆さんにお願いです。

○テレデータをお願いされている組合は、一日も早く電話をかけきってください。期日前投票が増えているもとので、日々対象者が減少します。

○沖縄にお知り合いがいらっしゃる方は、電話で玉城デニー候補への支持をお願いし、激励してください。

秋年末闘争のご多忙の折ではございますが、宜しく願い申し上げます。

2018年9月25日

沖縄県労働組合総連合
議長 穴井 輝明

★カンパ振り込み先

沖縄県労働金庫 本店営業部 普通預金 口座番号 2526028 沖縄県労連

9. 26 国連・核兵器廃絶デー



核なき世界実現に向け

宣伝・集会 記念行動

～世界が核廃絶を望んでいます～

9月26日、日本原水協など11団体の主催で「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」記念行動が行われました。2013年9月26日に国連総会「核軍縮ハイレベル会合」が開催され、翌年2014年にはこの国際デーがつくられました。国際デーでは世界中で核兵器廃絶に向けたとりくみが行われています。

全労連は、午後の「ヒバクシャ国際署名」宣伝、夜の「緊急集会 核も基地もない沖縄へ」に参加しました。

◆「ヒバクシャ国際署名」宣伝 新宿駅西口◆



14時から新宿駅西口で行われた「ヒバクシャ国際署名」宣伝では、東友会から参加した被爆者の方7人を含む、全教、自治労連、特殊法人労連、全労連など28人が参加、1時間のうちに84筆もの署名が集まりました。

リレートークを行い、『核も基地もない沖縄を！核兵器禁止条約に参加する日本の実現を！』の横断幕を掲げ、沖縄県知事選挙への協力を訴えました。

東友会会長・大岩孝平さんが自らの被爆体験を語りました。話に耳を傾け、幅広い世代の人々が一筆一筆、署名用紙に思いを託しました。また、全労連・長尾ゆり副議長、全教・山本乃里子中執らが

「日本政府は被爆国政府として核兵器禁止条約に署名すべき」、「1万4000発の核兵器を使用させない一番の保証は核兵器をなくすこと」などと訴えました。英語をはじめ中国語や韓国語などの署名用紙も用意され、中国人やドイツ人の方からも署名が寄せられました。

◆緊急集会 核も基地もない沖縄へ◆

19時から全労連会館2Fホールで「緊急集会 核も基地もない沖縄へ」が開催されました。

第1部は「沖縄と核について」の学習会が行われ、核兵器禁止条約に日本が参加しない理由や米朝対話モードと日本の政策の温度差、保守派の思惑のために沖縄に核が大量配備された背景などを学びました。

第2部は沖縄県知事選挙の最新情報を安保破棄中央実行委員会の林事務局次長が現地からネット中継で報告しました。自公・維新推薦の候補とオール沖縄の候補の大激戦だと語り、「翁長知事の遺志を継ぐのは誰か」を太く打ち出し、その後継者は玉城デニー候補であると多くの人に広め、期日前投票を広く呼びかけていると報告しました。23日に行われた「うまんちゅ大集会」では約8000人が集まり、「翁長夫人のあいさつや玉城候補者の決意表明によって参加者は心ひとつに、選挙戦を勝利して必ず沖縄の誇りを取り戻すと決意した」と語られました。



現地で支援に入った全教、全日本民医連、日本原水協、日本国民救援会の4人から沖縄選挙の様子が報告され、「沖縄はアジアと世界の平和の架け橋になる。基地に頼らない経済こそ日本国民が選択すべき道だと再確認した」、「沖縄のたたかいは日本のたたかい、オールジャパンでたたかい抜くことを共有し、団結しよう」などと口々に語られ、最後は「沖縄を返せ」のシングアウトで集会は終了しました。

【当面の行動】

「原子力空母はいらない! 10・14 横須賀集会」

日時 10月14日(日) 13時開会(12時開場) 14時デモ行進出発
場所 横須賀市ヴェルニー公園(JR横須賀駅下車徒歩1分、京急汐入駅徒歩5分)
主催 安保破棄中央実行委員会
安保破棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
※雨天決行

